IWAウオーキングだより

石川県ウオーキング協会
発行・編集：企画広報委員会
Mail:iwa-ishikawa@nsknet.or.jp

能登に寄り添い上を向いて歩こう

石川県ウオーキング協会会長　吉田　仁

正月の団らんを奪った能登半島地震。令和6年は、辛い始まりとなりました。いまも奥能登の被災地では多くの方が不自由な避難生活を送っています。被災された関係者のみなさまに謹んでお見舞いを申し上げます。

被災地に心を寄せながら、われわれも活動を始めたいと思います。本年も会員のみなさまのご理解とご協力をいただき、例会や各種事業を実施してまいります。

協会事業の柱である百万石ツーデーウォークは６月１日・２日に実施します。コロナ禍前に比べ各事業で参加者数が伸び悩んでいます。コロナの５類移行を受け、反転攻勢に出ようとした矢先の災禍ですが、各活動に多くのウォーカーを迎えての開催することが、被災地に元気を届けることになると思います。会員の皆さんの知恵と力をお貸しください。

日本協会からは能登ゆかりのバーチャルコースを歩く「能登半島地震支援ウォーキング」の提案もいただいています。活動を通して能登に元気を送りたいと思います。

こんな時だからこそ、上を向いて、楽しく、明るく、元気に歩いて行きましょう。みなさんの一歩一歩が、ご自身の健康づくりと能登の復旧・復興の確かな歩みになるものと確信しています。この１年、よろしくお願いします。

ともに頑張りましょう。

県協会2024年度通常総会開催

○第21回加賀百万石ツーデーは新体制で

県協会の2024年通常総会は2月6日、石川県女性センターで139人が出席（委任状含む）して開かれ、2023年の事業報告や今年の事業計画案などが承認されました。事業計画の中で6月1、2日に予定している第21回加賀百万石ツーデーウオークについて、大会事務局を北國新聞社に移管するとの方針が提示されました。これまでは県協会が大会の企画から運営までほぼすべての業務を会員のボランティアでおこなっていましたが、コロナ禍を経て参加者や協賛金の減少、スタッフの不足などの困難に直面し、これ以上、手弁当で全国大会を運営するのは無理でした。一時は開催断念も考えたのですが、吉田会長の尽力で北國新聞社が大会継続へ救済の手を差し伸べてくれました。もちろん県協会はこれまで同様、コース管理については全面的に責任を持ちます。参加者に安心して楽しんでいただけるよう、引き続き皆様のご協力をお願いします。スタッフ募集のお願いは改めてお知らせします。

○能登の復興支援にできることを

元旦の能登半島大地震から40日余が過ぎましたが、被災地の復旧・復興はまだまだ先が見えません。被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。能登復興のため私たちに何ができるのか？　県協会の今年の事業計画は昨年のうちに作成したため地震については想定外でしたが、県協会としては義援金のほかに、ウオーキングを通じて被災地を元気づけること、被災者の健康増進を図ることなど、いろいろ出来ることもあると思います。早くも日本ウオーキング協会はインターネットを通じた能登支援事業（詳細は後日、LINE公式アカウントなどでご報告します）などを考えているようです。被災地はまだウオーキングどころではないでしょうが、少し落ち着いたら、県協会も被災地の各協会と連携して、たとえば「能登復興元気ウオーク」（具体的な中身はまだ考えていませんが）などを展開できればと思います。

○小松ウオーキング協会が解散

県協会の団体会員だった小松ウオーキング協会は1月28日に開いた総会で、同日限りで解散することを決定しました。解散の理由は会員の高齢化、減少に加えて運営スタッフの引き受け手がいない、ということです。これは小松協会だけではなく、12月に解散した七尾協会も、さらに石川県協会も同じ問題を抱えています。県協会もこのままでは活動継続が困難な状況に直面するのは時間の問題であり、ウオーキングを絶やさないためにどうすれば協会を存続できるのか、真剣に考えていきたいと思います。県協会加盟の地域協会は最多で13団体ありましたが、すでに退会した山中温泉、加賀、白山に今回の七尾、小松を加え、残りは8団体（野々市ウキウキ、諸江地区歩こう会、内灘町協会、かほく「にゃんたろう」、穴水町協会、能登町協会、珠洲協会、輪島市協会）になりました。

○ウオーキングステーションも廃止

小松協会の解散により、同協会が管理していたウオーキングステーション「スポーツオーソリティ新小松店」（イオンモール新小松内）も廃止となります。同ステーションは2018年7月に開設され、木場潟の500選コースを含む4本の常設コースを備えていました。県内では唯一の施設で、最も多かった2020年には296人の利用がありました。

★IWA活動記録　（1月）

◎1月例会「金沢の映画ロケ地巡りと初詣ウオーク」を開催

【開催日】2024年1月7日（日）
【集合場所】金沢駅東口もてなしドーム地下広場
【天気】曇り一時雨と雪
【参加人数】57人（会員55人、一般2人）
【コース】金沢駅地下広場（スタート）⇒久保市乙剣宮⇒暗がり坂⇒主計町⇒観音町⇒宇多須神社⇒梅の橋⇒尾崎神社（ゴール）

元旦早々、能登沖地震に見舞われ大変な事態になりました。金沢城の石垣が崩れてお城には立ち入ることができず、コースを大幅に変更・短縮しました。神社の玉垣が崩れ規制線で立ち入ることができない箇所もありましたが、行方不明者の一刻も早い発見と災害地の復興を祈願しました。また映画「いのちの停車場」ロケ地の梅の橋、観音町も巡

りました。ゴールの尾崎神社では、おみくじで大吉を引いた笑顔の参加者に心和みました。

　地震と雪予想をはるかにうわまわる参加者があり、ウォーキングに対する熱意が感じられる例会になりました。

県ウオーキング協会の今後の行事予定

【2月例会】金沢の石造物探訪②（6キロ）○2月25日（日）しいのき迎賓館9：30スタート→地蔵橋子安地蔵→松山寺→鶴林寺→安楽寺→永福寺→宝円寺→経王寺→如来寺→天徳院→下馬地蔵→波着寺→真行寺→棟岳寺→石浦神社→しいのき迎賓館ゴール

【3月例会】お花見ウオーク（10キロ）○3月31日（日）金沢南運動公園バラ園9：00スタート→陸上競技場→有松小公園→伏見川→満願寺川→高橋川→高尾緑道→伏見川→バラ園ゴール

【4月例会】金大、美大の新旧キャンパス巡り（10キロ、7キロ）○4月14日（日）イオンもりの里9：30スタート→金大角間キャンパス→下田上橋→県立図書館・金沢美大新キャンパス→美大旧キャンパス→若松橋→イオンもりの里ゴール

【第21回百万石プレ大会】特別例会○4月20日（土）21日（日）金沢駅西口イベント広場8：30スタート20日／おとこ川コース（24キロ、12キロ）金沢駅西口（スタート）→市民芸術村→犀川河川敷→新橋→にし茶屋街→六斗広見→泉野図書館→山科→大乗寺丘陵公園→山環野田トンネル→大桑貝殻橋→辰巳用水遊歩道→錦町→三口新町→犀川雪見橋→上菊橋→桜橋→新竪町→竪町→木倉町→長町武家屋敷→玉川町→六枚町→金沢駅（ゴール）※12kmコースは泉野図書館前で分岐し上菊橋で24kmコースと合流

◇21日／おんな川コース（20キロ、10キロ）金沢駅西口（スタート）→安江八幡宮→小橋→主計町→ひがし茶屋街→卯辰山ろく寺院群→汐見坂緑地→望湖台→奥卯辰山健民公園→角間新町→金大角間キャンパス→田上→下田上橋→旭橋→兼六あゆみ橋→天神町緑地→馬坂→小立野通→本多の森公園（解散＝本多の森～金沢駅は省略）

※10kmコースはひがし茶屋街で分岐し天神町緑地で20kmコースと合流

＊＊＊＊＊　事務局だより　＊＊＊＊＊

新会員のご紹介▽竹内安弘、竹内富美（金沢市）

県内共通パスポート表彰者　なし

JWA/IVV記録認定者(ウオーキングライフ1、2月号から)

【地球一周4万キロ】▽3万5000キロ＝岩田誠【JML】▽スーパーマスターウオーカー＝西村良二、初見幸広【オールジャパン完歩】安江和子、安江重雄【IVV回数】▽800回＝米田実▽30回＝井山美智子、福田良助【IVV距離】▽2万1000キロ＝西山美紀▽1万5000キロ＝米田実▽500キロ＝福田良助

全国大会のご案内

　大きな災害に見舞われた北陸はまだ冬の寒さが続いていますが、全国から春のウオーキングシーズンに向けて大会案内が届いています。以下の大会パンフが事務局にあります。廊下に出しておきますので自由にお持ち帰りください。▽第34回南房総フラワーマーチ（2/17、18＝千葉県）▽第26回こばやし霧島連山絶景ウオーク（2/24、25＝宮崎県）▽第29回九州国際スリーデーマーチ（3/1～3＝熊本県）▽京都ウオーク2024（3/3＝京都府）▽第37回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ（3/9、10＝岡山県）▽第25回古河まくらがの里花桃ウオーク（3/23＝茨城県）▽第19回名古屋ツーデーウオーク（3/30、31＝愛知県）▽第26回ふくしま吾妻荒川・花見山ツーデーマーチ（4/6、7＝福島県）▽第11回しあわせツーデーウオーク（4/6、7＝香川県）▽第18回下総・江戸川ツーデーマーチ（4/13、14＝千葉県）▽第27回久留米つつじマーチ（4/20、21＝福岡県）

非特定営利活動法人 石川県ウォーキング協会
921-8106　金沢市平和町1-3-1
石川県平和町庁舎
Tel/Fax 076-245-6588
Mail: iwa-ishikawa@nsknet.or.jp
IWA
LINE公式アカウント
https://lin.ee/b5y8sew